

やまが 市議会だより

平成28年2月1日 発行／山鹿市議会

第8号



平成27年11月5日道の駅登録「水辺プラザかもと」

もくじ▶	審議した議案と結果一覧・賛否表及び討論	P 2
	常任委員会審査と報告	P 3～5
	議会運営委員会行政視察報告・小学生の社会見学・あいさつ	
	条例銘板除幕式	P 6
	市政のここが聞きたい（質疑・一般質問） P 7～11
	2016年（平成28年）定例会の会期予定表 P 11
	議会の動き・ようこそ山鹿市へ・人事案件 P 12

平成27年12月定例会における審議結果表

議案等番号	案 件	結 果
議案第94号	山鹿市職員の再任用に関する条例の一部を改正する条例	可 決
議案第95号	山鹿市職員退職手当支給条例の一部を改正する条例	可 決
議案第96号	山鹿市印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例	可 決
議案第97号	山鹿市税条例等の一部を改正する条例の一部を改正する条例	可 決
議案第98号	山鹿市特別用途地区内の建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例	可 決
議案第99号	山鹿市立学校条例の一部を改正する条例	可 決
議案第100号	山鹿市立学校条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例	可 決
議案第101号	山鹿市社会体育施設条例の一部を改正する条例	可 決
議案第102号	山鹿市立小・中学校体育施設の使用に関する条例の一部を改正する条例	可 決
議案第103号	山鹿市立保育園条例の一部を改正する条例	可 決
議案第104号	平成27年度山鹿市一般会計補正予算(第5号)	可 決
議案第105号	平成27年度山鹿市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	可 決
議案第106号	平成27年度山鹿市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	可 決
議案第107号	平成27年度山鹿市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)	可 決
議案第108号	平成27年度山鹿市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	可 決
議案第109号	平成27年度山鹿市簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)	可 決
議案第110号	平成27年度山鹿市水道事業会計補正予算(第1号)	可 決
議案第111号	平成27年度山鹿市下水道事業会計補正予算(第1号)	可 決
議案第112号	山鹿市基本構想	可 決
議案第113号	工事請負契約の締結について	可 決
議案第114号	財産の譲渡について	可 決
議案第115号	財産の譲渡について	可 決
議案第116号	財産の譲渡について	可 決
議案第117号	財産の譲渡について	可 決
議案第118号	公の施設の指定管理者の指定について(山鹿市山鹿老人福祉センター等)	可 決
議案第119号	公の施設の指定管理者の指定について(山鹿市菊鹿健康福祉センター「ひまわり館」)	可 決
議案第120号	公の施設の指定管理者の指定について(山鹿灯籠民芸館)	可 決
議案第121号	公の施設の指定管理者の指定について(山鹿市民交流センター)	可 決
議案第122号	人権擁護委員の推薦について	同 意
議案第123号	人権擁護委員の推薦について	同 意
議案第124号	人権擁護委員の推薦について	同 意
議案第125号	人権擁護委員の推薦について	同 意
意見書案第2号	複数税率による軽減税率の導入実現を求める意見書	可 決

賛否表

○は賛成 ●は反対 欠は欠席

議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	17	18	19	20
議 案	服 部 香 代	富 田 弘 海	永 田 健 健	稻 葉 昇 昇	富 丸 洋 一 郎	藤 本 峰 秀	北 原 昭 三	芹 川 正 美	藤 原 豊	平 井 邦 廣	吉 本 政 幸	池 田 誠 一	堀 田 茂 幸	永 田 紘 二	横 手 啓 介	太 田 黒 鐵 郎	丸 山 寛 治	寺 崎 勇 児	丸 山 康 昭
議案第100号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	
議案第104号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	
議案第113号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	

上記以外の案件は全会一致で審議結果表のとおりとなりました。(議長は採決には加わりません)

反 対 論

- 議案第100号 山鹿市立学校条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例
- 議案第104号 平成27年度山鹿市一般会計補正予算(第5号)
- 議案第113号 工事請負契約の締結について

すべて米野岳中学校校区統合小学校に関するものに反対する。

11月27日鹿央住民382名より事業費支出差し止め訴訟がされ、その根元は、鹿央地域から学校がなくなること、防災安全上の問題等から鹿央住民を主とした3225名からの反対陳情にある。提訴は住民の声であり、判決を待つべきである。

4小の統合学校名「めのだけ」が決定！

總務文教常任委員會 12月8日開催
付託案件 議案 14件……可決

◆主な審査内容

■教育委員会関係

議案第99号 山鹿市立学校条例の一部を改正する条例（菊鹿中学校）

寄宿舎にいる生徒はどうするのか。

スクールバスを購入して送迎する。

寄宿舎廃止の経緯について伺う。

答 存続の要望が最近になつてあつたが、本来の遠臣難の目的と

存続の要望が最近になつてあつたが、本来の遠距離の目的とは違う面があるので再度寄宿舎を利用している保護者に話をした。納得していただいたものと思う。

議案第100号 山鹿市立学校条例の一部
を改正する条例の一部を改正する条例
(米野岳中学校校区4小の統合小学校
(仮称)

35の学校の名称が出てきた。漢字の「米野岳」・ひらがなの「めのだけ」・漢字の「八千代」があつたと聞いたが、どの位の違いがあつたのか。

議案第116号 財産の譲渡について
(旧広見小学校敷地等)

問 本体の譲渡価格0円、固定資産税はいつから発生するのかまた、免除とかはあるか。

答 通常、固定資産税は1月1日

て賦課するので2年の積みに於設完成予定であり、次の1月一日以降の賦課となる。

問 市の土地を譲渡する場合、何年間か他の目的で使用しないとい

あるが縛りまた契約の内容に入れ込みはあるか。

答 企業誘致等で譲渡価格を低価格で売った場合、利用条件を付

ける。譲渡価格0円というのは最終的に解体費用が譲渡価格よろづ、付帯労力果て合の

て0円となるのでそういう要件は付けていない。

議案121号 公の施設の指定管理者の指定について（山鹿市民交流センター）

年間の指定管理料はいくら発

生で水のかさか 併用料が高くなるようなことはないか。

答

問 メンテナンス料はどの位発生すると考えるか。

議案第112号 山鹿市基本構想（第2次 山鹿市総合計画）

問 この基本構想は各課からの意見か。

答 基本構想については、総務部を中心にして策定したのではなく、各課長で構成する専門部会を設け、各課からの意見を聴取し、横の連携を図つて策定した。

現地調査

菊鹿小学校（六郷小学校敷地内）

現場確認では、山鹿市産材を使用した温もりある室内や、昇降口に力メラを設置するなどの不審者対策などを確認した。

戸籍・住民票関係証明等が山鹿市役所バスタードで取得可能に!

市民福祉常任委員会

12月7日開催

◆付託案件 議案 8件…可決

◆主な審査内容

議案第96号 山鹿市印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例

個人番号カード（※1）使用
で多機能端末機によりコンビニエンスストアで交付（2月上旬運用予定）できるものや時間はどうか。また店舗等への委託料はいくらか。

答

市内12店舗で交付可能。戸籍関係は、12月29日～1月3日と土日祝日を除く平日の8：30～17：15。住民票、印鑑登録証明書及び税関係証明書は、12月29日～1月3日を除く（土日祝日可）6：30～23：00。地方公共団体情報システム機構に年間300万円の負担金を支払い、各店舗へは1件につき123円の手数料が必要となる。（※1）個人番号カードは、マイナンバー通知により地方公共団体情報システムに申請し交付が必要です。

議案第106号 平成27年度山鹿市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）

健診の個別受診者が増加しているが今後はどのように対応していくのか。

問

小規模多機能施設で介護士の確保ができず閉所した例もある。許可、認可の承認は慎重にやつてもらいたい。小規模多機能施設や介護予防拠点施設の建設時に職員の確保は必要か。

議案第108号 平成27年度山鹿市介護保険事業特別会計補正予算（第2号）

小規模多機能施設で介護士の確保ができるための便益を総合的に供与することを目的に昭和59年に開設されている。平成26年度の利用者は15,838人であり、多くの市民に親しまれている。施設建設の段階での職員確保は不要である。小規模多機能施設については、開所時は利用者は3人につき1人の職員が必要である。



市民福祉委員会
(現地調査1=山鹿老人福祉センター)

答

施設建設の段階での職員確保は不要である。小規模多機能施設についても、開所時は利用者は3人につき1人の職員が必要である。

議案第118号 公の施設の指定管理者の指定について（山鹿市山鹿老人福祉センター等）

問

利用者からマイクロバス送迎等のサービスの維持を要望されているが。

議案審査終了後、市民部より堆肥のための家庭用生ごみの収集を3月で終了するとの説明があった。

その経緯として、平成17年からの鹿本地域に始まり、平成22年からは循環型社会の構築を目指しモデル地区で実施していたが、生ごみの収集状況や生ごみ排出の負担度合い、経費等の費用対効果を検証した結果、取り止めることになった。

また、今後も引き続き分別収集や自家処理による、循環型社会の構築を目指していきたいと説明があった。

現地調査



市民福祉委員会
(現地調査3=鹿央地域福祉センター)

調査した3施設ともに山鹿市社会福祉協議会が指定管理を行っている。

1 山鹿老人福祉センター

老人に対して各種の相談に応じたり、

3 鹿央地域福祉センター

地域住民の健康保持と福祉の増進を目的に平成7年に開館した。一般利用者の他にデイサービス利用者もいる。平成26年度の利用者は一般2,538人デイサービス7,149人であった。訪問介護事業所、居宅介護支援事業所もあり地域福祉の拠点となっている。

2 菊鹿健康福祉センター「ひまわり館」

地域住民の健康保持と福祉の増進を目的に平成13年に開館した。会議室や調理も可能な栄養指導室、多目的室なども完備され大変充実した施設であり、平成26年度の利用者は6,544人である。

市役所周辺を行政・文化の拠点として特別用途地区に指定!

建設経済常任委員会 12月4日開催
◆付託案件 議案 8件……可決

◆主な審査内容

議案第98号 山鹿市特別用途地区内の建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例

市民交流センターなどを市民の方々に幅広く利用して頂けるよう、用途地域(※1)を変更する予定。用途地域を変更することにより、多様な建築物の建築が可能になるため、特別用途地区(※2)を指定し、当地区に相応しくない建築物の建築制限を定める条例改正を行うもの。

※1 特別用途地区II：居住・商業・工業などの用途でその地区に相応しい土地利用など、特別な目的の実現を図るために指定するもの。

議案第104号 平成27年度山鹿市一般会計補正予算(第5号)

「農地中間管理機構集積協力金交付事業」の対象区はどこなのか。

鹿本地区の津袋・庄・川北・中分田地区である。

付金の支払先は誰なのか。
「環境保全型農業直接支払交



建設経済委員会（現地調査1＝市道杉平原線道路）

農業者の団体である。

台風15号の被害対策補助率はどれくらいか。

30%である。

台風被害対策の対象は、農業者に限られているが、商工業者は対象とはならないのか。

農業者のみで商工業者は対象とならない。

議案第115号 財産の譲渡について

山鹿市にあるガラスハウスと借地であり、建物を無償で譲渡するのはなぜなのか。

ガラスハウスの敷地はもともと借地であり、建物譲渡先への

■委員会において、議案審査終了後、鹿本地区にあるバイオマスセンターの液肥タンクや生ごみ堆肥化施設など現在までの報告と今後の管理等について報告を受けた。

なぜ家庭生ごみの搬入を停止するのか理由を問う。

生ごみの収集状況や生ごみ排出の負担度合い、経費等の費用対効果を検証した結果、家庭生ごみの搬入を取りやめる結果となつた。ただし事業系生ごみは従来どおり行う。

今後のバイオマスセンター施設の利活用をどのように考えているのか。
これから十分に検討していく。

返還期限がきている。建物を解体し返還するとなると、相当の解体費用がかかる。現状のままの活用が一番望ましいと考え無償とした。



建設経済委員会（現地調査3＝太陽光施設「熊本山鹿ソーラーパークC」建設予定地）

現地調査

1 市道杉平原線道路改良工事及びオムロン敷地内道路新設工事

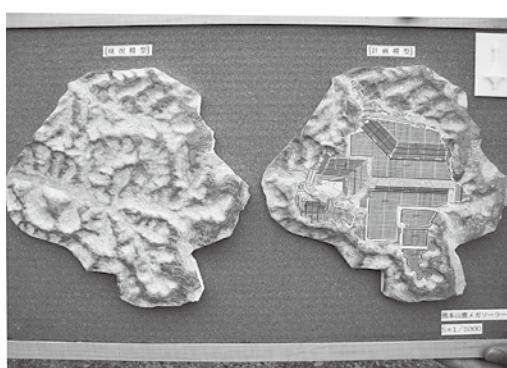
国道3号線の渋滞緩和のため、山鹿市とオムロン（株）が連携して道路工事を行った。内訳は山鹿市が260m、オムロン（株）が302mである。

2 鍋田団地水洗化事業について「鍋田団地」

平成27年度・28年度の2年間で、同団地の污水管、上水道配水管の敷設工事及び浄化槽の設置を行い、平成29年度に水洗化をする。

3 太陽光施設「熊本山鹿ソーラーパークC」によるメガソーラー施設建設予定地

平成30年10月に発電所稼働予定となっている。出力は3万kW、一般世帯の約1万世帯の電力を供給できる試算となつてている。



建設経済委員会（現地調査3＝太陽光施設模型）

行政視察報告

～先進地研修を終えて～

●議会運営委員会行政視察報告 平成27年10月13日

大分県の大分市議会へ議会運営委員会で行政視察を行った。

研修内容は、「議会改革」に関するもので、主に議員政策研究会、市民や若年層との意見交換会、事務事業評価について研修を行い、先進地として全国レベルでも高い評価を受けている大分市議会の実態は、今後の山鹿市議会の活性化に活かせるものがあったと感じた。

主な研修内容は、以下のとおりである。（抜粋）

○議員政策研究会について

政策的条例案の策定に関すること、及び市長に対する政策提言に關することであり、議会基本条例の制定、子ども条例の制定、災害対策に関する市長への提言、こころといのちを守る条例の制定が挙げられた。議員立法としての条例制定にも積極的であった。

○市民や若年層との意見交換会について

毎年開催され、前年の市民意見交換会での検討課題や経過報告などを行っている。

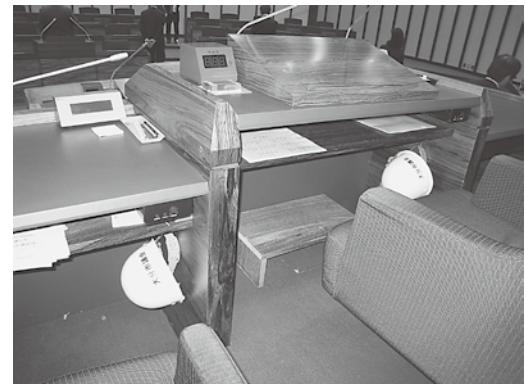
課題として、参加者をいかに増やすか、また、会場・時間配分・班編成・役割分担・交換会のPR方法など検討が必要であるとの意見が出た。役割分担や計画、PRのビラやティッシュ広告等の取組みは参考になった。

○事務事業評価について

決算審査の一環として導入し、選定基準を設け定例会終了後、議長が市長に事務事業評価結果を議決書に添付して送付し、前年度の検証と次年度の予算への反映を目的に、議会なりの事務事業評価を市長へ行う事に関しては、今後の参考となった。

○議場について

研修が終わり議場を見学したが、東日本大震災後、各議員席、執行部席、傍聴席全席に防災用のヘルメットを設置してあった。



議運行政視察報告
(大分市議会議場 議長席の防災ヘルメット)

市議会ってどんなところ？

10月9日に山鹿市立三玉小学校3年生の生徒の皆さん 28名が、社会科学習の一環で市議会を訪れてくださいました。「山鹿市のことを探る」という目的で、市役所5階の議場を見学し、議会の役割や本会議の方法など、事務局の説明を熱心に聞いていました。今後、もっと多くの小学生が見学に訪れていただける開かれた議会に努めます。



小学生社会見学（三玉小学校3年生社会見学の様子）

あいさつ条例のシンボルとして…

11月10日に「あいさつの励行及び互礼の普及の推進に関する条例」の銘板除幕式が挙行されました。

この条例は、地域の絆を強め、「温もりある」「明るく元気な」地域社会を実現するために、欠くことのできない「礼意を込めたあいさつ」を励行し、また、市長を先頭に行政が率先して取り組んでいる「あいさつ運動」を全市に拡大するとともに、市外に向けた「あいさつのまち山鹿」をアピールする目的のため、昨年9月の定例会において、議員提出議案として制定いたしました。

市議会におきましても、様々な場面で積極的に「互礼」を推進し、普及の促進と啓発に努めてまいりたいと思います。



あいさつ条例（市役所駐車場敷地内：「あいさつの励行及び互礼の普及の推進に関する条例」の銘板）



インターネット録画配信をご覧いただけます。

山鹿市
ホームページ → 市議会
一覧 → 定例会の
様子

の順にクリックしてください。

質問 第2次山鹿市総合計画基本構想について

- これからの山鹿市の方向性や何に重点をおいて市政運営をしていくのか、市長のビジョンを伺う。

答弁:(市長)

将来都市像を「人輝き飛躍する都市(まち)やまが」と定め、人材育成、産業振興と雇用創出、子育て環境充実、安心な暮らしの実現、戦略的行政経営を基本目標とし、これを達成するため、特に人材育成に重点を置いて市政運営を行う。



服部香代 議員

質問 山鹿市地域防災計画について

- ① 自主防災組織の設立、運営への支援や防災リーダーの育成は行っているか。
- ② 広報手段の一つに「やまがメイト」(※1)が無料で配信されているが、利用登録者の目標値は定めているか。
- ③ 避難標識の設置状況はどうか。外国人を含む観光客の安全にも配慮する必要があるのではないか。
- ④ 防災計画の中にDV被害者等の個人情報を管理徹底する記載がないがどのように取り扱うのか。

(※1) P9 富丸議員の (※2) を参照

答弁:(総務部長)

- ① 設立の手引きを作成し地域への説明も行っている。活動には事例紹介や訓練計画策定の助言をするとともに、設立経費等の一部補助も行っている。防災リーダー育成は関係機関と連携し取り組みを強化する。
- ② やまがメイトは個人所有の機器が対象であることや市外の方の利用もあるので目標値は設定困難である。
- ③ 標識は未設置であるが、外国語表記も含め設置について検討を進める。
- ④ 災害直後の被災者の安否確認は可能な限り回答するが、DV被害者等の個人情報は管理を徹底するなどの説明を加えたい。

質問 市民交流センターの指定管理による効果について

指定管理することによる効果は。また市民の意見を広く聞く機会を考えているか。

答弁:(教育部長)

専門的スタッフも含めた人員配置や管理体制の整備が図れる。市民の意見を聴く機会を創出しサービスの向上を図る。

質問 山鹿市の社会体育施設と小・中学校の体育施設について

社会体育施設及び学校ナイター設備の利用実績の少ない施設の今後の対応並びに施設の予約システムの一元管理をどのように考えているのか伺う。

答弁:(教育部長)

学校施設を含め、社会体育施設は老朽化に対応した計画的な改修が必要であり、施設の配置も地域で差が生じていることから利用実績を踏まえ、施設の適正配置も念頭に、施設の継続・廃止等を検討する。

また、予約システムについては、加入負担金や導入経費が高額であり、導入の必要性は認識しているが、本市の施設規模等を考慮し、現行の本庁や市民センター等での受付を継続していきたい。



富田弘海議員

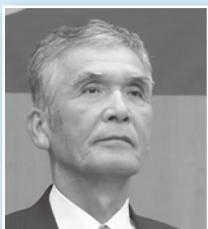
質問 山鹿市バイオマスセンターについて

- ① 今後の施設運営について伺う
- ② 市の全体的な生ごみ処理方針についてどのようにお考えか伺う

答弁:(①経済部長 ②市長)

- ① 利用率低下、維持費増及び堆肥化処理施設の活用方策などの問題解決へ向け、区域外からの原料搬入と民間活力の導入も視野に入れ、今後の有効利活用を図っていく。
- ② 資源循環型社会の構築に向け、生ごみの資源化・減量化を推進してきたが、特にバイオマスセンターの利活用の実態や生ごみ収集運搬の費用対効果、市民負担などを調査し、また焼却施設のごみ量や処理費などを踏まえて精査した上、生ごみの利用効果が見込まれないと判断し、燃やすごみとして収集することとした。

なお、資源循環型社会の構築を引き続き目指し、環境に対する市民意識の向上を図るうえでも、生ごみの自家処理を併せて推進していく。



稲葉 昇議員

質問 イノシシによる農作物の被害状況とこれまでの対策について

- ① 被害状況について
- ② これまでの被害防止対策はどうしているのか
- ③ 猟友会の会員数について

答弁:(経済部長)

- ① 被害状況は、過去5年間の平均で、被害面積として年間約30haの被害面積。被害額としては年間約1,100万円である。捕獲実績として年間約1,700頭の実績がある。
- ② イノシシの被害防止対策として、過去5年間の取り組みとして、国の鳥獣被害緊急総合対策事業や市単独で、電気さくや防護さく設置費用の補助、箱わなの購入費用の補助などを実施している。
電気さくの設置が690件、防護さくの設置が延長265キロメートル、箱わな購入補助が92件、新規狩猟免許取得者への補助を支援している。
- ③ 猎友会の会員数は、市内全体で139名で、その内訳は、山鹿地区53名、鹿北地区39名、菊鹿地区22名、鹿本地区14名、鹿央地区11名である。



質問 消防団の組織と今後の課題について

団員数の減少による地域の実情から見て昼間の消火活動に即時に対応できるよう事業所等への消防車の配備と各集落への消火栓BOXの設置が将来的に必要と考えるが、以下の現在の状況を伺う。

- ① 合併後の団員数の減少率について
- ② 現在の機能別団員数について
- ③ 各署所から最も遠い地区までの所要時間について

答弁:(消防長)

- ① 合併当初の2,415人から現在は2,102人に減少しており、旧市町別の減少率では鹿北町が29%で最も高い。
- ② 平成27年7月1日現在で52人である。
- ③ 山鹿消防署から中ノ浦地区まで14分、東分署から山の神地区まで16分、鹿北分署から茂田井地区まで17分である。

質問 生活困窮者対策について



生活困窮者対策についての窓口
「生活自立相談窓口」市役所1階⑨番福祉課内)

山鹿市における生活困窮者の実態はどうなっているか。

答弁:(福祉部長)

今年5月から10月までの相談件数は84件となっている。相談支援員が継続的に関わっていくものの内容としては、関係機関につないだ後も結果をフォローし見守りが必要なもの、また問題が重複しており困窮状態が悪化しないよう見守りと支援が必要なもの等がある。



北原昭三議員



パーキング・パークミット
「ハートフルバス」

質問 パーキング・パークミットの導入について

現在32府県に拡大され市では埼玉県の2市で導入されている。山鹿市としてパーキング・パークミット（身体障害者用駐車場利用許可証）の導入についての見解を伺う。

答弁:(福祉部長) 市独自で導入するのではなく、熊本県「ハートフルバス制度」の利用促進に向けて、対象者への周知や協力施設の拡大に努める。

質問 「災害廃棄物処理計画」策定の推進について

環境省が実施した調査によると全国の「災害廃棄物処理計画」は都道府県にて約2割、市区町村にて約3割しか策定されていない。本市の「災害廃棄物処理計画」の策定はどのようにになっているか。

答弁:(市民部長) 近年の災害における経験により、事前の備えや大規模災害時においても適正な処理を確保し、円滑・迅速な措置が必要なことから、本市としては、平成24年度末に策定済である。

質問 健康マイレージの取り組みについて

健康づくりでポイントをためる健康マイレージの導入について市の見解を伺う。

答弁:(福祉部長) 健康マイレージも視野に入れつつ、市民の健康意識の向上、健診の受診率向上にもつながる、山鹿市独自の取り組みを展開したい。



富丸洋一郎議員

質問 山鹿市地域防災計画について

災害発生時における避難情報の伝達及び避難場所等について伺う。

答弁:(総務部長)

避難情報発令の基準は、河川氾濫が想定される際は、氾濫危険水位に達した場合に避難勧告を発表するといった明確な基準を定め、情報の伝達方法としては、防災無線やオフourke放送、テレビ、ラジオや広報車などの方法を活用し、12月から本格運用を開始した地域コミュニケーションツール「やまがメイト」（※1）も有効な手段と考える。

分田・小柳地区の避難場所は、ひだまり（鹿本市民センター）や鹿央市民センターなどの施設としているが、避難経路が寸断される事態が想定される場合は、近隣自治体への協力体制の構築も視野に入れ検討する。

※1 地域コミュニケーションツール「やまがメイト」=スマートフォンのアプリ、または、パソコンのサイトにおいて登録し、山鹿市や居住区（行政区）の緊急情報・お知らせ情報をいち早く音声や文字でお伝えするものです。

質問 道の駅水辺プラザかもとについて

「道の駅」の登録を受けた「水辺プラザかもと」の施設整備など支援策を伺う。

答弁:(経済部長)

11月5日「道の駅」に登録され、知名度アップによる集客効果が考えられる。登録の条件に24時間道路情報や災害・観光情報を得る施設であることや、24時間使用可能なトイレなど整備し、老朽化が進む施設等の改修を並行して進め、地域活性化の拠点となるよう支援を継続したいと考える。



携帯アプリ
「やまがメイト」画像

質問 昨年8月の台風15号被害状況と支援対策等について

- ① 農業被害についてどのような状況か
- ② 林道被災状況と支援対策についての考えはどうか
- ③ 市道被害状況と復旧状況はどのようにになっているのか

答弁: (①②経済部長③建設部長)

① 収穫し始めた栗や梨、柿などの果樹がほとんど落果し、アールスメロンやナスなどの施設園芸の被害、ハウスや畜舎の倒壊、ハウスビニールの破損など農業施設に大きな被害をもたらし、農業関係で7億3,000万円の被害が確認されている。

被害状況の内訳については、野菜や果樹など農作物の被害が2億299万9,000円。

柿や栗などの樹木被害が2億332万4,000円。ハウスや牛舎、倉庫などの施設関係被害が3億2,371万6,000円となっている。

支援対策については、倒伏した果樹、全滅した野菜などの植え替えに係る経費、クリップ定に係る経費、破損した防虫、防風ネット等の復旧に係る経費、倒壊したハウスの復旧、畜舎等の施設復旧に係る経費の支援を予定している。

② 市内の殆どの林道が被災を受けたが、特に鹿北、菊鹿地区が風倒木による被害が多くかった。復旧作業は、人、車両の通行など日常生活に支障をきたす路線を優先に実施した。その他の路線については随時処理を行なっている状況である。

③ 市道の被害については、122路線、延長35キロメートルの倒木処理を行った。現在、カーブミラー等の安全施設76カ所の復旧を行っている。



芹川正美議員



台風15号による被災現場復旧作業



永田紘二議員

質問 消防機能の充実について

- ① 消防本部の現状及び機能別団員の機能と役割について伺う。
- ② 自主防災組織を含めた防災体制についてどう考えているのか伺う。

答弁: (①消防長②市長)

- ① 単独市消防本部として81名体制で業務を遂行しており、消防本部と消防団の命令系統の一元化により情報を共有することで、互いの連携強化に繋がっている。又、被雇用者団員の増加による平日雇間の活動団員不足を補完する手段として機能別団員制度を導入したが、今後も本来の機能が果たせる様、環境整備に努めていく。
- ② 今後は自主防災組織と常備、非常備が連携し、より強固な防災体制づくりを推進する。



機能別団員用ハッピ

質問 公民館機能について

- ① 自治公民館と地区公民館の機能について伺う。
- ② 山鹿地区公民館の方向性についてどう考えているのか伺う。

答弁: (教育部長)

- ① 自治公民館（約250館）は、集落単位で自主的に設置されており、スポーツ・文化の振興や、集落の課題解決に向けた活動が行われている。地区公民館（12地区館）は校区・地域単位に市が設置しており、住民の教養の向上や健康増進など、社会福祉の増進のため自治公民館との連携を図りながら公民館活動を展開している。
- ② 山鹿地区公民館の活動拠点確保については候補施設を選定し、同地区公民館と協議しながら来年4月移転をめざしている。

質 疑 議案第100号山鹿市立学校条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例について

米野岳中学校校区統合小学校の名称が、ひらがなの「めのだけ小学校」となった経緯について伺う。

答弁:(教育部長)

米野岳中学校校区の地域住民、小学校・保育園保護者、学校の代表者45名で組織する「開校準備委員会」及び「総務部会」で名称案を協議し、まず米野岳中学校校区の全世帯及び学校等職員を対象に名称案を募集した。35点の案から、総務部会で3点（米野岳、めのだけ、八千代）に絞られ、様々な議論があり、中学校との一貫性や分かりやすいということで、総務部会で「めのだけ」が選定された。開校準備委員会でも様々な意見が出たが、総務部会の決定を尊重する形で「めのだけ」に決定された。教育委員会は、開校準備委員会での論議を尊重し「山鹿市立めのだけ小学校」と判断した。



丸山康昭議員

質 問 鹿央地域のまちづくりについて

- ① 鹿央地域の活性化に向けた市の取り組み状況について
- ② 鹿央地域の道路整備状況について
- ③ 人口減少対策について市長の考えを伺う。

答弁:(①総務部長②建設部長③市長)

- ① 鹿央地域の現状と可能性を踏まえ、将来に向けた振興策・活性化策を探るため、本年4月、庁内に鹿央地域活性化プロジェクト会議を立ち上げた。今後、検討案の中から事業効果の高いものを厳選し、できるものから実施していきたい。
- ② 計画的に道路整備を進めているが、県道を含め全体的に整備が遅れている。県道山鹿植木線の早期完了に向け、本年8月に地元期成会が設立され、国道3号植木バイパス1工区についても期成会設立の動きがある。市も関係機関と連携しつつ、道路整備水準の向上を図っていく。
- ③ 将来を担う若者の意見を大事にしながら、鹿央地域の魅力と可能性を最大限に生かし、住民の期待に応えられる施策に取り組んでいく。

2016年（平成28年）定例会の会期予定表

	3月定例会		6月定例会		9月定例会		12月定例会	
開会日	2月25日	(木)	5月26日	(木)	8月25日	(木)	11月24日	(木)
一般質問	3月2日	(水)	6月1日	(水)	8月31日	(水)	11月30日	(水)
一般質問	3月3日	(木)	6月2日	(木)	9月1日	(木)	12月1日	(木)
建設経済委員会	3月4日	(金)	6月3日	(金)	9月2日	(金)	12月2日	(金)
市民福祉委員会	3月7日	(月)	6月6日	(月)	9月5日	(月)	12月5日	(月)
総務文教委員会	3月8日	(火)	6月7日	(火)	9月6日	(火)	12月6日	(火)
閉会日	3月11日	(金)	6月10日	(金)	9月9日	(金)	12月9日	(金)

【注意事項】

- ※年間予定ですので、市の行事、市長会・議長会等の公務、委員会委員の日程調整によって変更となる場合があります。
- ※委員会傍聴の場合、各委員会とも先着12名となります。
- ※各委員会においては、午前もしくは午後に市内の現場を見る「現地調査（傍聴者の同行不可）」が予定されることがあります。事前に議会事務局（電話43-1634）へ日程のお問い合わせをお願いします。
- ※必要がある場合は、予定表の定例会以外に召集される議会「臨時会」（未定）が開催される場合があります。

行政
視察

ようこそ山鹿市へ

議会の主な動き

10月	3日(土) ふれあいピック第11回大会 玉名市市制施行10周年記念式典 4日(日) 幸の国健康館「ゆ～かむ」新生オープン感謝祭 7日(水) 鹿北町戦没者追悼式 議会活性化特別委員会 8日(木) 熊本県市議会議長会 9日(金) 広報委員会 13日(火) 熊本県北市議会連絡協議会 議会運営委員会行政視察(～14日) 16日(金) 全員協議会 17日(土) 消防フェスティバル 18日(日) 鞠智城の日 20日(火) 森林・林業・林産業活性化九州大会 21日(水) 第10回九州沖縄防衛議員連盟連絡協議会 22日(木) 百歳到達者表敬訪問 25日(日) 第25回鹿北茶山唄全国大会 鹿央ふるさと祭り 31日(土) 山鹿市芸術祭文化祭総合開会式 四十万町第11回米こめフェスタ(～11/1)
11月	1日(日) 山鹿市視覚障害者福祉協会設立40周年記念式典 市内4高等学校生徒代表との意見交換会 4日(水) 山鹿市老人クラブ連合会グラウンドゴルフ大会 5日(木) 議会活性化特別委員会 清浦奎吾伯墓前際 7日(土) 山鹿市健康まつり 10日(火) あいさつ条例銘板設置除幕式 全員協議会 15日(日) 芸術文化祭湯の町やまが「華の饗宴」 17日(火) 全国市議会議長会研究フォーラム(～19日) 議会運営委員会 21日(土) 第36回かほくまつり(～22日) 23日(祝) 山鹿湯まつり「陽・謡・踊」 24日(火) 百歳到達者表敬訪問 26日(木) 12月定例会開会 27日(金) 議会活性化特別委員会
12月	2日(水) 質疑・一般質問 広報委員会 3日(木) 質疑・一般質問 委員会付託 4日(金) 建設経済常任委員会 6日(日) 山鹿市人権フェスティバル 7日(月) 市民福祉常任委員会 8日(火) 総務文教常任委員会 9日(水) 議会運営委員会 議会活性化特別委員会 11日(金) 12月定例会閉会 全員協議会 13日(日) 六郷小学校閉校式 16日(水) 議会活性化特別委員会 18日(金) 広報委員会 百歳到達者表敬訪問 20日(日) 山鹿市駅伝大会 山鹿温泉復活感謝祭 21日(月) 山鹿市青少年育成市民会議総会



今年から選挙権年齢が18歳に引き下がられ、中学校や高校では新たな主権者教育が始まっています。私たちは政治と暮らしは密着していることを伝え、住民の声が届く開かれた議会にする責任があります。議員の様々な活動を広報して関心を持つてもう一つの手段です。市議会だとよりを通して政治がより身近になることを願っています。今後もより充実したものになるよう努力してまいります。皆様のご感想などお寄せ下さいます！

廣報委員 服部香代

編集後記